

アラスカと大雪山③ 原点回帰の旅

デナリ国立公園（以下デナリ）では、最奥のキャンプ場「ワンダーレイク」で、4日間キャンプをして過ごしました。ワンダーレイクはデナリ山を正面に見られるので、「世界一美しいキャンプ場」と呼ばれています。

印象的だったのは、やはり白くて巨大なデナリ山の存在。あまりにも大きくて目の錯覚と思えるほど。アラスカ山脈を遠望し、視線を下げていくと果てしないツンドラ大地が広がります。ツンドラは荒涼として不毛な地というイメージがありましたが、足下は色とりどりの花々、地衣類、ベリー類の低木が埋め尽くし、蛇行する川や湖沼、動物の巣穴が点在しています（なんとデナリには登山道という道はないので、自由に好きな場所を歩くことが出来るのです）。念願のグリズリーベア、ブラックベアの親子、トナカイやムース、ドールシープ、ハクトウワシ、ヤマアラシ、ホッキョクジリスは百匹以上も…。たくさんの野生動物にも出会えました。

極北の厳しい自然の裾野に広がる大小たくさんの豊かな命。大地が持つ本当の力。それらがデナリ山をより偉大に輝かせている。そう感じる圧倒的な自然でした。

思わぬ発見と感動もありました。それは、大雪山とデナリがとても似ていたことです。どっしりと大きくてゆるやかな山並み、植物の濃い緑と沢筋に残



Nature Column (ネイチャーコラム)
自然ガイドなどで活躍する人たちをリレーしています。



大雪山と似ている景色（デナリで撮影、2018年7月3日午前7時52分）

る残雪のコントラスト、足下に咲くコケモモ、ミネズオウなどのお馴染みの植物たち。遠く離れたアラスカで、友人にバツリ再会したような親しみが込み上げ、これまでアラスカに引かれ続けた理由が分かったような気がしました。望外の原点回帰の旅にもなりました。

さて、その大雪山旭岳に、今年6月、新しいビジターセンターが新たにオープンします。大雪山の基礎情報をはじめ、登山に役立つリアルタイム情報を発信し、来訪する方に喜んでもらえるような施設となるよう開館に向けて準備をしています。開館しましたら、ぜひご来場ください。（この回終わり）

環境省東川自然保護官事務所アクティブレンジャー 渡邊あゆみ



インドネシアの選挙

東川町国際交流員（CIR）
ファティシテイファティマ

今年インドネシアの「政治の年」といわれています。なぜなら今年17日（水）に、なんと大統領、国民代表会議議員、地方議会議員、州議会議員、市議会議員選挙が行われるいわば総選挙だからです！ その中でも大統領選がやはり一番国民が目

を向ける選挙です。インドネシア大統領の任期は、1期5年、最大2期10年に制限されました。ちなみに大統領、副大統領はペアで立候補し、そのペアに投票します。日本では珍しいことです。



選挙運動は2018年9月23日に正式に開始され、2019年4月13日に終了します。選挙運動期間中には4回のテレビ討論会が行われ、討論会が終るたびにSNS（ウェブ上の社会的ネットワークサービス）やインターネット上で雰囲気熱くなります。仲の良い友達でも、政治観の違いで仲が悪くなることもあります。熱を帯びる大統領選挙戦の話はさておき、インドネシアの選挙の投票概要

や方法などを紹介します。投票権はインドネシア国籍を持つ17歳以上もしくは既婚者（女性の婚姻年齢は16歳）に与えられます。選挙管理委員会のデータによると、今年の選挙の有権者数は約1.8億人います（海外在住者を含む）。

投票率を上げるために総選挙日は祝日になりました。投票のやり方は日本とちよつと違います。投票用紙に立候補者の写真と名前、もしくは政党名と立候補者の名前が掲載され、写真や名前のところに釘で穴を開けます。その後、用紙を折り、指定の箱に入れます。不正行為防止として、投票が終了したら小指に紫色のインクを塗り付けられ、投票手続きが完了します。

紫色のインクは3日間ほど手を洗っても消えない特製インクです。見栄えが悪いので嫌がっている投票者もいますが、最近ではインクのついた小指の写真を撮って、SNSに投稿する若者がたくさんいます。インクのついた小指を見せたら、さまざま割引があるという「小指紫色インクキャンペーン」を行っているお店もたくさんありますよ。投票率を上げるのには良い作戦ですね！ 残念なことには、東川町に住んでいる私には、郵送で投票用紙が送られてくるので、「小指紫色インク割引」をもらえませんが、似たようなキャンペーンを行っているお店は東川の町にあるのかな？